

平成28年 省エネルギー基準対応

作成：2017年5月8日

自己適合宣言書文書番号：LXEC-1607

更新：2020年10月30日

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（附属書）：DWG023

株式会社LIXIL

サッシ・ドア事業部 ドアSBU

※1.各熱貫流率が、以下①、②のいずれに準拠しているかを掲載しています。

- ①「建具とガラスの組み合わせ」による熱貫流率
- ②試験、計算による熱貫流率 ※2

※2.試験は「JIS A 4710」、計算は「JIS A 2102」または国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「熱貫流率及び線熱貫流率 ドアの簡易的評価」に基づく代表試験体の熱貫流率です。  
代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づきます。

グランデル2 ハイグレード仕様

枠と戸の仕様	対象型番	開閉形式	ガラスの仕様	ガラス中央部の熱貫流率 [W/(mK)]	開口部の熱貫流率 [W/(mK)]		開口部の日射熱取得率(η)		性能根拠 ※1	
					遮蔽物無し	風除室あり	遮蔽物無し	風除室あり	①	②
枠：金属製又はその他 戸：金属製高断熱フラッシュ構造	■ドア本体：採光なし 801型、851型	片開き	ドア本体：—	—	0.89	0.82	0.03	0.03		○
	■ドア本体：採光あり 802型	片開き	ドア本体：組み込みガラス	—	1.23	1.10	0.04	0.04		○

グランデル2 スタンダード仕様

枠と戸の仕様	対象型番	開閉形式	ガラスの仕様	ガラス中央部の熱貫流率 [W/(mK)]	開口部の熱貫流率 [W/(mK)]		開口部の日射熱取得率(η)		性能根拠 ※1		
					遮蔽物無し	風除室あり	遮蔽物無し	風除室あり	①	②	
枠：金属製熱遮断構造 戸：金属製高断熱フラッシュ構造	■ドア本体：採光なし 101型、121型、152型、156型、172型、173型	片開き	ドア本体：—	—	1.28	1.14	0.04	0.04		○	
		親子	子扉：採光なし	ドア本体：— 子扉：—	—	1.28	1.14	0.04	0.04		○
			子扉：採光あり	ドア本体：— 子扉：組み込みガラス	—	1.59	1.38	0.05	0.05		○
	■ドア本体：採光あり 183型	片開き	ドア本体：組み込みガラス	—	1.39	1.23	0.05	0.04		○	
		親子	子扉：採光なし	ドア本体：組み込みガラス 子扉：—	—	1.39	1.23	0.05	0.04		○
			子扉：採光あり	ドア本体：組み込みガラス 子扉：組み込みガラス	—	1.59	1.38	0.05	0.05		○
	■ドア本体：採光あり 132型、141型、144型、191型	片開き、両開き	ドア本体：組み込みガラス	—	1.57	1.36	0.05	0.05		○	
		親子	子扉：採光なし	ドア本体：組み込みガラス 子扉：—	—	1.57	1.36	0.05	0.05		○
			子扉：採光あり	ドア本体：組み込みガラス 子扉：組み込みガラス	—	1.59	1.38	0.05	0.05		○
	■ドア本体：採光あり 102～106型、151型、153～155型、171型、174型、181型、182型	片開き、両開き	ドア本体：組み込みガラス	—	1.59	1.38	0.05	0.05		○	
		親子	子扉：採光なし	ドア本体：組み込みガラス 子扉：—	—	1.59	1.38	0.05	0.05		○
			子扉：採光あり	ドア本体：組み込みガラス 子扉：組み込みガラス	—	1.59	1.38	0.05	0.05		○